

眼瞼下垂症

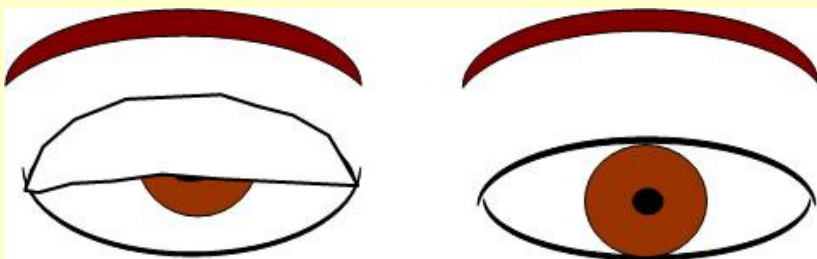


松阪市マスコットキャラクター
「ちゅちゅも」

<病気について>

作成：医事課

眼瞼下垂症とは、視力などには問題が無く、まぶたが下がって目が自力では開けにくくなってしまふ病気です。原因として、**先天性**に眼瞼挙筋（上まぶたを上げる筋肉）が**発育異常**を起こしたものの【**先天性眼瞼下垂**】と、眼瞼挙筋を支配する神経に障害が起きたものの、加齢に伴い眼瞼挙筋の筋力が弱くなったもの、外傷によって筋肉が断裂してしまったものなど【**後天性眼瞼下垂**】があります。



<症状>

上まぶたが重たく、目が開きづらいので日常生活をしていく上で疲れを感じてきます。上まぶたが垂れ下がっているため、それを補うために額の筋肉を使ってまぶたを上げようとします。そのため、眉毛がつり上がった状態になることもあります。症状が進行すると肩こりや頭痛・疲労につながります。

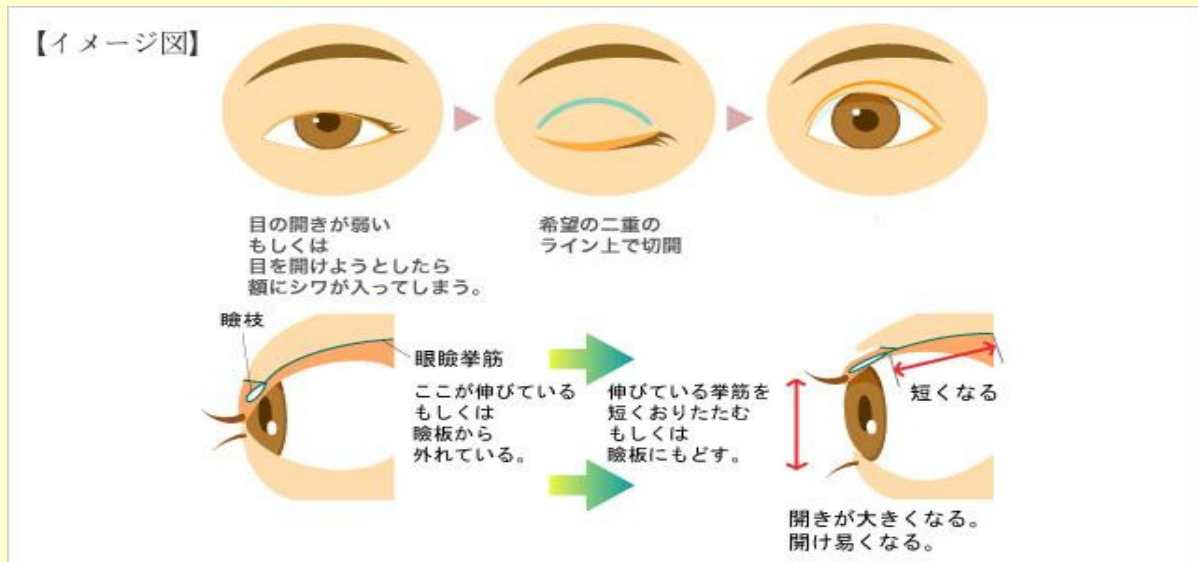


<治療>

眼瞼下垂は手術を行って治療をする場合と手術以外の治療を行う場合があります。

【眼瞼下垂手術～挙筋前転法～】

加齢性のもので、外れたり、緩んでしまった腱膜を瞼板に再固定します。



その他…

- 眼瞼下垂手術～筋膜移植法～
- 眼瞼下垂手術～その他のもの～ 等の手術法があります。

<入院費～概算～>

眼瞼下垂手術（両側）（1泊2日）

1割・2割負担の場合 21,000円

3割負担の場合 63,000円

※食事代金、個室代金は含まれていません。

※高額医療の方は、申請により限度額認定証が交付されますので、詳細は医事課まで御連絡下さい。

<平成28年度当院データ>

- 眼瞼下垂手術年間症例数 142件
- 眼瞼下垂平均入院日数 2日

※パンフレットに関するご不明な点等ございましたら、
医事課までお気軽にお尋ね下さい。